

新基地建設は破綻しています。 大浦湾埋め立てを中止させ、ジュゴンをまもろう！



Photo：瀬高の灯台跡から見た大浦湾 2025.6.25 撮影

「辺野古が唯一」（普天間基地の危険性除去のための）という日本政府の論理はすでに破綻しています。軟弱地盤の B27 地点でボーリング再調査を行ったものの、北上田毅さんの情報公開請求に応じません。SDCC が行った 4 月 18 日の防衛省交渉およびその後の再質問でも、口をつぐんだままです。軟弱地盤問題に関する技術的展望を示しえないのです。

米議会もモイラン米下院軍事委員会委員が、米国会計検査院に、軟弱地盤問題を中心に辺野古新基地に米国が予算支出する合理性に関して問う、質問書を提出しています。

こうしたなか、直近の日米首脳会談の日米共同声明から「辺野古が唯一」という文言が消えました。

台湾で漁網にかかったジュゴンが救われ放流され、その後沖縄、久米島沿岸で見つかりました。台湾、中国へとつながる南西諸島と海は、ジュゴンの生きる海、平和の海です。辺野古埋め立てを止め、南西諸島軍事化をやめさせ、ジュゴンと美ら海を守る展望と方針を議論します

みなさまの参加をお待ちしております。

日時：2025 年 7 月 27 日（日）

10:00 開会 12:00 閉会

場所：相模原市民会館 第 3 中会議室（4F）

プログラム

9:30 開場 10:00 開会

- ・海勢頭豊 共同代表のあいさつ（リモート）
- ・基調 「辺野古新基地は破綻した。展望のない杭打ちを中止させ、ジュゴンを守ろう」（仮）
（事務局）

- ・国際担当からの報告（リモート）

休憩

- ・与那国、辺野古など訪問の報告
- ・活動報告 首都圏 関西
- ・質疑応答
- ・まとめ 決議案確認

12:00 閉会

